

2019年度岐阜県サッカー協会 技術委員会 事業報告

岐阜県サッカー協会技術委員会では下記の事業を推進し、岐阜県サッカーの競技力向上と選手育成・チーム強化に寄与する。

1 定例技術委員会の開催

- ◆ 目的：県サッカーの競技力の向上と普及を目指し、現状と課題を把握し適切に対応していくよう施策を立案する
- ◆ 委員会開催月：次の月の第3木曜日に行う。4月・6月・8月(9月)・10月・12月・2月・3月
- ◆ 具体的な取り組み：施策運用の為に下記の部会を設置し、その活動を支援する

【成果】

- 定期的に会議を開催し、本県の普及、育成強化の現状把握と課題を共有することが出来た
- ユース育成部会・指導者養成部会・国体強化部会を設置し各部会で情報共有と発信を行った

【課題】

- 各部会の情報共有を緊密にする➡部会の役割と開催時期の再検討
- 各部会の発信力の強化を進める
- HP ページの効果的な活用による県内指導者への情報発信(事業ごとの成果の発信など)を行い、意識高揚に努める。

2 ユース育成部会

- ◆ 目的： ① TC 活動を中心としたすべての種別の選手育成と強化を目的とした活動を展開する
② 県内のリーグ戦環境を整え、選手の競技力向上を目指す
- ◆ 目的達成のためのアクションプラン(下記以外に競技力向上のための具体的な取り組みを記入)
 - TC_3 年計画の最終年にあたり、その検証を行い 2020 年につなげる事業計画を立てる
 - 4 種の岐阜 5 地区 TC 細分化について検証し、TC 活動の目的に沿った活動につなげる
 - リーグ戦カレンダー検討委員会を設置し、県内の試合環境の整備と練習環境の充実を図る
 - TC スタッフ研修会を実施し、TC に関わる指導者の資質向上に努める
 - ユース部会、地区 TC 会議を定期的に実施し、選手育成の幹となるものを共有する機会を設ける
 - TC 活動報告書を作成し、TC 活動内容の充実を図る
- ◆ 具体的な目標(数値目標などを記入)
 - TC スタッフ研修会を年 2 回実施する
 - ユース部会を奇数月、地区 TC 会議を偶数月に実施する

目的① TC 活動を中心としたすべての種別の選手育成と強化を目的とした活動を展開する

【成果】

- TC 活動の充実を図る事が出来た
 - ①各地区 TC ディレクターの尽力により TC 活動を支える会場、スタッフの協力を得られた
 - ②種別を超えた TC 活動が出来ている地区があった
 - ③TC スタッフ研修会を 3 種では 2 回、4 種では 1 回行う事が出来た
 - ④定期的にユース部会を開催することで情報共有をする事が出来た

【課題】

- TC 活動のさらなる充実を目指す
 - ①TC 指導者の指導力を高め、参加する選手の能力を引き上げる工夫と努力、学びのある活動とする
 - ②B 級以上の指導者を各カテゴリー 2 名以上配置できるようにする：女子 TC スタッフの増員

- ③TCスタッフと各チームスタッフ、カテゴリーや種別を超えたTCスタッフ間での情報共有や研修の場を増やす事：GFA-TC 活動のビジョン・ミッションの共有
- ④TC カレンダーを整理し、U11～U17 までの一貫指導体制を整える
- ⑤TC スタッフ研修会の充実：選手選考から育成までのロードマップの作成

目的② 県内のリーグ戦環境を整え、選手の競技力向上を目指す（ゲーム環境）

【成果】

- ①各種別においてリーグ戦を実施することができた
- ②岐阜県カンファレンスで、岐阜県 U12 以下のゲーム環境について、問題提起ができた

【課題】

- ①選手が伸びるためのしたリーグ編成と各種行事の精選
- ②U15・U13・U12 のゲーム環境を検証し、よりよいゲーム環境を提案、実施すること

3 指導者養成部会

- ◆ 目的： ① JFA 公認ライセンス講習会を展開運営し、指導者の質の向上と数の確保をする
② 県内指導者の指導力向上のための事業を企画展開する
- ◆ 目的達成のためのアクションプラン(指導者養成部として行う活動を具体的に記入)
 - JFA-B 級 FA コースを開催する
 - C 級ライセンス講習会を 2 コースで実施する
 - C 級リフレッシュ研修会を 5 地区 5 コースで開催する
 - C 級リフレッシュ研修会と B 級トライアルの関連付けを検討し、B 級ライセンスを取得しやすい環境を今年度中に整える
 - D級ライセンス講習会を 5 地区 5 コースで実施する
 - 4 種リーグ育成研修会を 5 地区で実施し、指導者だけでなく保護者に対して研修会を行う
 - 岐阜県フットボールカンファレンスを開催し、県内サッカー指導者の意識高揚と世界のトレンドを学ぶ機会を与える
- ◆ 具体的な目標
 - B 級ライセンス講習会において 2019 年度 10 名以上の合格を目標とする
 - C 級・D級ライセンス各回 20 名以上を確保し、全員取得を目標とする

指導者講習会について

【成果】

- 各種ライセンス合格者は目標値を達成できた
B 級：10 名 C 級：72 名(3 コースで実施) D 級：90 名(3 コースで実施)
- 岐阜県カンファレンス等指導者講習会 総のべ人数 501 名参加(1/18 ; 249 名、1/19 ; 252 名)

【課題】

- B 級ライセンス受講者（トライアル参加者）の促進
- B 級・C 級リフレッシュ研修会の充実：指導者の学びを促進するための内容の充実と日程の調整を図る

4 国体強化部会

- ◆ 目的： ① 成年・少年種別で国体東海予選を突破できるよう支援するための事業を展開する
② 国体種別における成果と課題を県内強化、育成に反映させる
- ◆ 目的達成のためのアクションプラン
 - 成年種別(男子)：東海リーグを通じて試合経験値を上げる

- 成年種別(女子)：ふるさと選手を活用したチーム強化とU15年代からの選手育成に力を注ぐ
- 少年男子：全県下2種・3種の選手情報収集と関係チームとの情報共有を密にする
- 少年女子：女子指導者の普及を指導者養成部と連携を図り、2022年からの少年女子カテゴリーに対応できるようにする。

◆ 具体的な目標

- 成年種別：東海予選突破・国民体育大会ベスト8以上
- 少年種別：3年連続東海予選突破・国民体育大会ベスト4以上

◆ アクションプランと目標に対する成果と課題

《結果》目標はいずれも達成することが出来なかった。

国体強化について：

【結果】全種別国体東海ブロック予選敗退

成年男子：岐阜県選抜0－3静岡県選抜

成年女子：岐阜県選抜0－4静岡県選抜

少年男子：1回戦 岐阜県選抜0－3愛知県選抜

第2代表決定戦 岐阜県選抜2－3静岡県選抜

【成果】

- 3種別とも定期的な国体に向けた練習の開催ができた。
- 上級指導者を国体スタッフに抜擢し、更にコーチ陣にも上位指導者資格取得を促した
- 成年女子においてはふるさと選手の活用を図り、戦力の補強を図った：この方法は一定の成果を上げつつある
- 成年女子・少年男子においてはTC活動と連携し、選手の意欲と意識の向上に努め、特に女子種別においては徐々にその成果が上がってきている
- 少年男子ではTC活動を中心とした選手選考が出来るようになっている

【課題】

- 成年種別における選手確保と練習環境の整備
- 女子選手の日常での試合環境と練習環境の充実：東海リーグ以上で戦っているチームがないこと・中学・高校のチームが県内に少ないこと
- 少年男子の選手選考の難しさ：県外から岐阜県に進学する選手の情報が少ないこと
- 日常の練習量や強度のばらつきによるフィジカルコンディションの差を調整すること：専門的なスタッフの充実；パフォーマンスの数値化